

# 薬連ハイライト

## 令和4年度定時評議員会が開催される

3月29日(水)、都内貸会議室にて「令和4年度定時評議員会」が開催された。

小山常任総務の司会で開会し、山本会長挨拶の後、逢坂誠二衆議院議員、神谷政幸参議院議員よりご挨拶をいただいた。本田顕子参議院議員は衆議院厚生労働委員会对応により会議にご出席叶わなかったため、秘書よりメッセージが代読された。

明石議長の進行により、会議成立の宣言、議事録署名人の指名が行われた後、不在であった副議長として畑澤博巳評議員が選出された。次に、執行部より「重要事項の経過報告等」として最近の政治課題等について説明がなされた。

その後、「報告」として会務や事業報告に加え、昨年実施された第26回参議院議員通常選挙総括報告書についての説明、「議案」として令和5年度の事業計画及び収入支出予算等の5件の議案について説明がなされた。特に、総括報告に関しては、9月より幹事長に就任した川田幹事長から今回の結果に対する評価と共に、今後の連盟活動の方向性についても詳しく時間をとって説明がなされた。

休憩後の質疑応答・採決では、日薬連盟のみなら

ず都道府県薬剤師連盟の活動で中心的役割を担う役員らの活動や姿勢、今後の活動についての意見交換がなされ、全ての議案が了承された。

その後の協議では、これからの本田あきこ中央後援会の活動についての全般的な予定と共に、目標設定・活動分担や支援組織体制、広報資材の活用や名簿収集説明など、執行部で検討している内容の共有と共に、評議員からの意見を交え協議が行われた。

最後に大澤副会長の閉会挨拶で会議終了となった。ここ数年は感染防止対策をとりながら小規模の開催であったが、今回の評議員会には多くの評議員が出席し、新年度の新たなスタートに向けた評議員会となった。



## オレンジ日記

### 新年度にあたって ～近況のご報告～

参議院議員・薬剤師  
本田 顕子



桜色が爽やかな風に舞い街中を彩る季節の訪れとともに、マスク着用をはじめ、新型コロナ対策の段階的の見直しが始まっています。現在、類型見直しに向けて慎重な議論を進めておりますが、ここに至るまでの現場の先生方の献身的かつ弛まぬご尽力に心より感謝を申し上げます。

他方、医薬品供給不足のため多くのご負担を強いているところ、沢山のお声をいただいております。これまで製薬各社に生産努力を求め、薬局同士の連携や在庫情報の共有などをお願いし、薬価上の対応も行いましたが、引き続きこの課題を薬業界全体の課題として捉えて、供給不足解消に向けた検討を続けております。

2024年度からの第8次医療計画は薬剤師にとって在宅、災害、感染拡大時など「基本方針」に記される全てにおいて期待が寄せられております。今年度は各自治体が地域の実情に応じた計画を策定しますので、各自治体の業務系および医務系の部局との連携を強めていただき、薬剤師がやり甲斐を持って活躍しやすい環境を互いに創り出していきたいと思っております。

年度当初は、衆参両院の各委員会での答弁やG7保健大臣会合に向けた国際会議などが予定されていますが、これからも皆様との接点を大切にしながら、「薬剤師から政策提言」を軸に、薬剤師のため「難局突破」と「政策断行」に邁進してまいります。

## 政幸だより

### 薬事に関する小委員会

参議院議員・薬剤師  
神谷 政幸



自由民主党の組織として「政務調査会」があり、その下に「厚生労働部会」、さらにその下に「薬事に関する小委員会」があります。

薬事に関する小委員会は、自民党が野党となった平成22年12月1日に正式に設置され、与党による薬事行政等について提言するという目的であったとのこと。平成24年12月に与党に復帰してからは、与党の立場で薬事行政に対して意見を述べる組織となりました。

初代の委員長は松本純先生であり、2代目が藤井基之先生、現在の委員長は田畑裕明衆議院議員が務められています。事務局長は初代が藤井基之先生、次に村井英樹衆議院議員、そして昨年12月より私が事務局長を務めさせていただいております。

昨年12月に開催された小委員会では、薬局・薬剤師関係の主な規制改革の動向について、内閣府の規制改革推進室と厚生労働省医薬・生活衛生局から説明を受けて、活発な質疑応答がなされました。また、本年3月に開催された小委員会では、本田顕子政務官をはじめ厚生労働省幹部の参加の下①経口中絶薬、②医薬品の販売制度に関する検討会、③薬局・薬剤師に関する規制改革の動向について意見交換を行いました。

今後とも事務局長として頑張っております。